

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい国語
11	学	図	みんなと学ぶ 小学校国語
15	三	省 堂	小学生の国語 小学生の国語 学びを広げる
17	教	出	ひろがる言葉 小学国語
38	光	村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		②	学習の手引きの示し方	三領域(話す・聞く、書く、読む)にかかわる具体的な学習
		③	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元の数・単元名・取り上げられている作品等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・題材・活動内容
		⑤	課題解決的な学習を実施するための工夫	課題設定と解決方法の手引きの対応
		⑥	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	構成、ワークシート・表、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数
		⑧	発展的な学習の扱い方	発展的な学習の扱い方・教材の印の有無・教材名・ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑨	本文記述との適切な関連付けがなされた図表の活用	文章と図表の関連について考えさせる記述
		⑩	巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と三領域一事項ごとの内容
(オ)	言語活動の充実	⑪	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫	「手紙等を書く活動」、「報告する文章等を書く活動」、「詩、物語、随筆等を創作する活動」の単元名
		⑫	学校図書館機能の活用	学校図書館等の活用の仕方について示されている記述の例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明文				
	単元名	教材	目標	目標の示し方
			☆は単元の目標 □は学習目標	
東 書	○ 文章を読んで自分の考えを持とう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	☆ 文章を読んで自分の考えを持とう □ 事実と意見との関係に注意して、筆者の考えを読み取る。 □ 文章に対する自分の考えを持つ。	☆ 各単元の扉に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
学 図	○ 脳の働きを知り、自分自身に生かそう	○ 「自分の脳を自分で育てる」	☆ 脳の働きを知り、自分自身に生かそう □ 筆者の主張を読み、事例の果たす役割を考えよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
三省堂	○ 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう	○ 「宇宙時代を生きる」	☆ 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。
教 出	○ 伝えたいことをすいせん文にまとめよう	○ 「森林のはたらきと健康」	☆ 伝えたいことをすいせん文にまとめよう □ 説明の仕方に着目して読みましょう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。
光 村	○ 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう	○ 「笑うから楽しい」 ○ 「時計の時間と心の時間」	☆ 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう □ 挙げられている事例に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。 □ 筆者の考えに対する自分の考えを、具体例を挙げて発表しよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②学習の手引きの示し方
方法	三領域（話す・聞く、書く、読む）にかかわる具体的な学習

第6学年 読むこと 説明文			
	教材	＜学習の手引きの表記＞及び内容	◎具体例 □解説
東書	○「イースター島にはなぜ森林がないのか」	＜てびき＞ ○ 事実と意見との関係に注意して、筆者の述べていることを確かめながら読む。 ○ 筆者の挙げている例に注意しながら、文章の構成をとらえて要旨を確かめる。 ○ 読み取ったことをもとに、自分の考えをまとめる。	◎ 読みの視点と読み取ったことについて、図で整理する例を示している。 □ 「言葉の力」の枠内に、「文章に対する自分の考えを持つ」を示している。
学図	○「自分の脳を自分で育てる」	＜学習のてびき＞ ○ 筆者の主張を読み取り、まとめる。 ○ 筆者の主張にいたるまでの実験について、整理する。 ○ 筆者はどんな結果を得て、どんな考察をしたのか整理して書き出す。 ○ 自分の考えをまとめて発表し合う。	◎ 読み取ったことを整理するための表を示している。 □ 「国語のカギ」の枠内に「結果と考察」を示している。
三省堂	○「宇宙時代を生きる」	＜筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう＞ ○ 読んで考えたことを発表する。 ○ 筆者のものの見方をとらえる。 ○ 考えたことを交流する。	◎ 読みの視点と考えを交流する際の話題例を示している。 □ 「覚えておきましょう」の枠内に、「筆者のものの見方のとらえる」を示している。
教出	○「森林のはたらきと健康」	＜感心したことやなっとくしたことをはっきりさせて、すいせん文を書こう＞ ○ 筆者の説明の仕方に気をつけて読み、考えたことを話し合う。 ○ 『森林のはたらきと健康』のすいせん文を書く。	◎ 話合いの視点を吹き出しの枠内に示している。 □ 「ここが大事」の枠内に、「すいせん文を書くために」を示している。
光村	○「笑うから楽しい」 ○「時計の時間と心の時間」	＜筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう＞ ○ 筆者の主張に対する、自分の意見をまとめる。 ○ 自分の生活での体験などから具体例を挙げ、考えたことを発表する。 ○ 友達の発表を聞いて、感じたことを伝え合う。	◎ 読みの視点と発表例を示している。 □ 「たいせつ」の枠内に「筆者の考えに対して、自分の考えをもつために」を示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元の数・単元名・取り上げられている作品等

	学年	単元 の数	単元名	取り上げられている作品等
東 書	1 ・ 2	8	○ むかしばなしをたのしもう ○ 日本語のしらべ（春） ○ 日本語のしらべ（夏） ○ 言いつたえられているお話を知ろう ○ 日本語のしらべ（秋） ○ むかし話をしょうかいしよう ○ 日本語のしらべ（冬） ○ おばあちゃんに聞いたよ	・ 昔話の絵 ・ 「ちょうちょう」 ・ 「うみ」 ・ 「だいだらぼうのお話」「やまたのおろちのお話」「いなばの白うさぎ」 ・ 「うさぎ」 ・ 「かさこじぞう」 ・ 「雪」 ・ 十二支，春の七草，小の月，いろはうた 等
	3 ・ 4	13	○ 日本語のしらべ（春） ○ 俳句に親しもう ○ 日本語のしらべ（夏） ○ 日本語のしらべ（秋） ○ 慣用句を使おう ○ 日本語のしらべ（冬） ○ わらい話を楽しもう ○ 日本語のしらべ（春） ○ 「ことわざブック」を作ろう ○ 日本語のしらべ（夏） ○ 日本語のしらべ（秋） ○ 日本語のしらべ（冬） ○ 「百人一首」を声に出して読んでみよう	・ 「たんぼぼ」「ののはな」「ふきのとう」 ・ 俳句 ・ 「なみのおと」「いるか」，俳句 ・ 「赤とんぼ」，俳句 ・ 慣用句 ・ 「たきび」，俳句，月のよび方 ・ 「白ねずみ」「はとが聞くから」 ・ 「てんとうむし」，俳句 ・ ことわざ，故事成語 ・ 「積乱雲」，俳句 ・ 「落葉」，俳句 ・ 「手紙」，俳句 ・ 百人一首 等
	5 ・ 6	17	○ 日本語のしらべ（春） ○ 漢字の由来に関心を持とう ○ 日本語のしらべ（夏） ○ 古文を声に出して読んでみよう ○ 日本語のしらべ（秋） ○ 五・七・五で表そう ○ 日本語のしらべ（冬） ○ 古文に親しもう ○ 日本語のしらべ（春） ○ 日本語のしらべ（夏） ○ 漢文を読んでみよう ○ 日本の文字に関心を持とう ○ 日本語のしらべ（秋） ○ 日本語のしらべ（冬） ○ 句会を開こう ○ いにしへの言葉に学ぶ ○ 言葉は変わる	・ 「五月」，俳句 ・ 象形文字，指示文字，会意文字，形成文字 ・ 「西瓜の詩」，俳句 ・ 「竹取物語」「平家物語」「おくのほそ道」 ・ 「風のあと」，俳句 ・ 俳句 ・ 「北風の中」，俳句 ・ 「枕草子」 ・ 「春の河」，俳句 ・ 「祖母」，俳句 ・ 「論語」「十七条の憲法」「春暁」 ・ 「万葉集」万葉がな，ひらがな，かたかな ・ 「ある日ある時」，俳句 ・ 「ふるさと」，俳句 ・ 児童が作った俳句 ・ 「花鏡」「学問のすすめ」，上杉鷹山の手紙に書いた短歌，「うひ山ぶみ」「五輪書」 ・ 「竹取物語」 等

【国語】

学 図	1 ・ 2	4	○ むかしばなしを よみましょう ○ むかしのものがたりをたのしもう ○ とう場人ぶつになって読もう ○ つづき話を作ろう	・「うみの水はなぜしょっぱい」 ・「ヤマタノオロチ」 ・「かさこじぞう」 ・「かさこじぞう」 等
	3 ・ 4	5	○ 言葉のリズムを感じてみよう 俳句 ○ 言葉のいずみ 慣用句 ○ 言葉から風景を想ぞうしよう 百人一首 ○ 言葉のいずみ ことわざ，故事成語，四字熟語 ○ 声に出して短歌のリズムを楽しもう	・俳句 ・慣用句 ・百人一首 ・ことわざ・故事成語・四字熟語 ・短歌 等
	5 ・ 6	5	○ 言葉の文化に親しもう ○ 随筆を書こう わたし風「枕草子」 ○ 短歌・俳句を作ろう ○ 言葉のいずみ 日本語の文字の歴史 ○ 言葉の文化を体験しよう 狂言 盆山 漢詩	・「宇治拾遺物語」「文語詩 やしの実」 ・「枕草子」 ・俳句，季語 ・「万葉集」万葉がな，平がな，かたかな ・「盆山」「尋胡隠君」 等
三省堂	1 ・ 2	3	○ おはなしきかせて ○ むかしばなしをたのしもう いなばの白うさぎ ○ むかし話を楽しもう かさこじぞう	・昔話の絵 ・「いなばの白うさぎ」 ・「かさこじぞう」 等
	3 ・ 4	6	○ お話を聞こう ○ 声に出して読もう 俳句 ○ くふうして楽しく書こう カルタを作ろう ○ 落語 じゅげむ ○ 声に出して読もう 短歌 ○ 想ぞうをふくらませよう 故事成語の物語	・「ききみずきん」 ・俳句 ・「いろはガルタ」，ことわざ ・「じゅげむ」 ・短歌 ・故事成語 等
	5 ・ 6	8	○ 国語辞典で受けつぐ言葉の文化 ○ 狂言 しびり ○ 情景を思いうかべて音読しよう ○ 表現のよいところを見つけ合おう 句会を楽しむ ○ 場面の様子と自分の思いを書き 分けよう 自由な発想で 随筆 ○ 声に出して読もう 漢文 ○ 表現のくふうを楽しもう 短歌を作る ○ 日本語の歴史	・慣用句，ことわざ ・「しびり」 ・「雪」「土」 ・児童の俳句，季語 ・「徒然草」「枕草子」 ・「論語」 ・短歌 ・万葉がな，ひらがな，かたかな 等

【国語】

教 出	1 ・ 2	8	○ ほんをよもう ○ おはなしのくに いろいろなほんをよみたいな ○ むかしのおはなしをたのしもう ○ 「いろは」を知ろう ○ 音読はっぴょう会をしよう かさこじぞう ○ 七草をおぼえよう ○ 心にのこったところを伝え合 おう ○ むかしのお話を楽しもう	・「ずいとんさん」 ・昔話の絵 ・「天にのぼったおけやさん」 ・いろは歌 ・「かさこじぞう」 ・春の七草 ・「ないた赤おに」 ・「いなばのしろうさぎ」	等
	3 ・ 4	9	○ 日本語のひびきにふれよう 俳句に親しむ ○ きせつの言葉を集めよう 春・夏 ○ きせつの言葉を集めよう 秋・冬 ○ 日本語の文化に親しもう ことわざ・慣用句 ○ 月のつく言葉 ○ 物語の世界を想像して音読し たりえんじたりしよう ぞろぞ ろ（落語） ○ 日本語のひびきにふれよう 短歌の世界 ○ もみじ ○ 日本語の文化に親しもう 故事成語	・俳句 ・俳句 ・俳句 ・ことわざ，慣用句 ・月のつく言葉 ・「ぞろぞろ」 ・短歌 ・百人一首，唱歌 ・故事成語	等
	5 ・ 6	10	○ 日本語のひびきを味わおう 漢文に親しむ ○ 鳥 ○ 日本の文化を考えよう 「古典」を楽しむ ○ 俳句・短歌を作ろう ○ 折句を作ろう ○ 日本語のひびきを味わおう 春はあけぼの ○ 雨 ○ 日本の文化を考えよう 「言葉は時代とともに」 ○ 回文を作ろう ○ 日本語の文字	・「春暁」「春夜」「静夜思」「論語」「大学」 ・俳句，鳥に関わる言葉 ・「竹取物語」「平家物語」「伊曾保物語」，能， 「附子」 ・児童が作った俳句や短歌 ・「古今和歌集」 ・「枕草子」 ・雨に関わる言葉 ・「万葉集」，俳句，「坊ちゃん」「杜子春」 ・回文 ・「万葉集」万葉仮名，片仮名	等
光 村	1 ・ 2	6	○ どんなおはなしかな ○ おむすびころりん ○ きいてたのしもう まのいいりょうし ○ むかしばなしがいっぱい ○ きいてたのしもう いなばの白うさぎ ○ 聞いてたのしもう 三まいのおふだ	・「だいくとおにろく」 ・「おむすびころりん」 ・「まのいいりょうし」 ・昔話の絵 ・「いなばの白うさぎ」 ・「三まいのおふだ」	等

【国語】

	3 ・ 4	16	○ きせつの言葉 1 春の楽しみ ○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう ○ 聞いて楽しもう たのきゅう ○ きせつの言葉 2 夏の楽しみ ○ きせつの言葉 3 秋の楽しみ ○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう ○ きせつの言葉 4 冬の楽しみ ○ ことわざについて調べよう ○ きせつの言葉 1 春の風景 ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう (一) ○ 聞いて楽しもう ふるやのもり ○ きせつの言葉 2 夏の風景 ○ きせつの言葉 3 秋の風景 ○ 慣用句 ○ きせつの言葉 4 冬の風景 ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう (二)	・「花」、春の言葉 ・俳句、いろは歌 ・たのきゅう ・「たなばたさま」、夏の言葉 ・俳句、秋の七草、秋の言葉 ・短歌 ・「お正月」、冬の言葉 ・ことわざ ・春の言葉 ・短歌、俳句 ・「ふるやのもり」 ・俳句、夏の言葉 ・俳句、秋の言葉 ・慣用句 ・俳句、冬の言葉 ・短歌、俳句	等
	5 ・ 6	18	○ 季節の言葉 1 春の空 ○ 声に出して読もう 古典の世界 (一) ○ 季節の言葉 2 夏の夜 ○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう う 日常を十七音で ○ 季節の言葉 3 秋の夕暮れ ○ 声に出して読もう 古典の世界 (二) ○ 聞いて楽しもう 見るなのざしき ○ 季節の言葉 4 冬の朝 ○ 季節の言葉 1 春のいぶき ○ 聞いて楽しもう 河鹿の屏風 ○ 季節の言葉 2 夏のさかり ○ 言葉を選んで、短歌を作ろう たのしみは ○ 季節の言葉 3 秋の深まり ○ 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む ○ 伝統文化を楽しもう 伝えられてきたもの ○ 日本で使う文字 ○ 声に出して読もう 天地の文 ○ 季節の言葉 4 春を待つ冬	・「枕草子」、春の言葉 ・「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ・「枕草子」、夏の言葉 ・俳句 ・「枕草子」、秋の言葉 ・「論語」「春暁」 ・「見るなのざしき」 ・「枕草子」、冬の言葉 ・俳句、春の言葉 ・「河鹿の屏風」 ・俳句、夏の言葉 ・短歌 ・俳句、秋の言葉 ・「鳥獣人物戯画」 ・「柿山伏」 ・万葉仮名、平仮名、片仮名 ・「天地の文」 ・俳句、冬の言葉	等

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・題材・活動内容

第6学年 書くこと			
	単元名	題材	活動内容
東 書	・ ずい筆を書こう	○ 体験したことについての随筆	○ 体験した出来事を通して、自分が感じたことや考えたことをまとめた文章を書く。
	・ 資料を生かして呼びかけよう	○ 環境問題についての意見文	○ 資料を活用して、環境問題に対する身近な取組を呼びかける文章を書く。
学 図	○ 上巻 ・ 調べたことをレポートにまとめよう	○ 言葉について調べたレポート	○ 言葉の使い方を調べ、事例や理由を挙げながらレポートにまとめる。
	○ 下巻 ・ レポートをまとめよう	○ 卒業レポート	○ 自分が選んだテーマについて、今までに学んできた方法で調べ、レポートにまとめる。
三省堂	・ 表現の効果を考えて書こう	○ 身近な物のよさを伝える広告	○ 自分の身近にある物を対象に、よさを伝えるキャッチコピーと広告の文章を書く。
	・ 自分の意見を明確にして書こう	○ 説得力のある意見文	○ 日々の生活や学習の中で、関心のある事柄について自分の意見を文章に書いて伝える。
教 出	○ 上巻 ・ 学校案内パンフレットを作ろう	○ 学校案内パンフレット	○ だれに向けてどのようなことを伝えたいかを考えて、自分たちの学校案内パンフレットを作る。
	○ 下巻 ・ 説得力のある文章を書こう	○ 説得力のある意見文	○ 日々の生活の中で自分が見つけた課題について、意見文を書く。
光 村	・ 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう	○ 町のよさを伝えるパンフレット	○ おすすめの場所などを記した、自分たちの町のパンフレットを作る。
	・ 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう	○ 未来の社会についての意見文	○ 「どんな未来にしたいか」について、意見を聞き合って考えを深め、意見文を書く。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題設定と解決方法の手引きの対応

第5学年 読むこと 物語文		
	課題	手引き
東 書	「単元名」 音読しよう 「教材」 「だいじょうぶ だいじょうぶ」 ・「ぼく」のおじいちゃんへの思いを想像し、「ぼく」の思いを音読で表そう。	○ 人物の思いが伝わるようにくふうして音読する。 ・登場人物の思いを想像しよう。 ・登場人物の思いが伝わるように音読しよう。
学 図	「単元名」 物語のその後を話し合おう 「教材」 「みちくさ」 ・人物の関係がどのように変わったか、会話や心情を表す言葉をもとに、話し合おう。	○ 人物の関係がどのように変わったか、会話や心情を表す言葉をもとに、話し合おう。 ・物語に書かれている登場人物の関係を読み取りましょう。 ・二か所ある「不思議な気持ち」のちがいが分かるように説明しましょう。 ・登場人物が、この後どのような関係になっていくか、本文の表現にもどりながら、理由を挙げて、話し合おう。
三省堂	「単元名」 表現を味わい、ゆたかに想おう 「教材」 「カニモトくん」 ・表現を味わい、ゆたかに想おう。	○ 表現を味わい、ゆたかに想おう ・おもしろかったところや心に残ったところを発表しましょう。 ・登場人物の様子を比べて書いたり、様子のちがいが分かることを話し合ったりしましょう。 ・登場人物の気持ちを想おう。
教 出	「単元名」 人物の心情を想像して、物語の続きを書こう 「教材」 「いつか、大切なところ」 ・心情のうつり変わりを考えながら読みましょう。	○ 物語の続きを想像して、文章に書こう。 ・登場人物のゆれ動く心情を場面ごとにくふうしてまとめよう。 ・登場人物の特に印象に残った言葉と印象に残った理由をノートにまとめ、話し合おう。 ・学習したことを参考に、想像を広げて書きましょう。 ・書いた文章をこうかんして読み合い、感想を伝え合おう。
光 村	「単元名」 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう 「教材」 「なまえつけてよ」 ・登場人物どうしの関わりは、どんな出来事を通して、どのように変わっていったらう。心情が表れている表現に着目して読み、感想を伝え合おう。	○ 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう ・人物像がどのように書かれているか、会話や行動をぬき出し、心情を想像して短い言葉でまとめよう。 ・登場人物の心情の変化について考えよう。 ・登場人物の関わりの変化について考えよう。 ・自分とくらべて、考えたこととその理由を伝え合おう。 ・感想を伝え合って、自分の考えが広がったり、深まったりしたことをノートに書こう。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	構成，ワークシート・表，評価活動

第3学年 書くこと 報告文				
	単元名・題材	報告の内容	内 容	
東 書	○ 調べて書こう， わたしのレポート	○ 毎日の生活 で，ふしぎに 思ったこと， 気になったこ と	構成	○ 調べることを決める。 ○ 方法をえらんで，調べる。 ○ レポートの組み立てを考える。 ○ レポートを書く。 ○ 感そうをつたえ合う。
			ワークシート・表	○ メモ，組み立て表，レポート
			評価活動	○ レポートを読み合い，感想を伝え合う。
学 図	○ 調べたことを ほうこくしよう ・「遊びをくらべ よう」	○ お父さんや お母さんの子 どものころの 遊びと自分た ちの遊び	構成	○ くらべてみたいことをさがす。 ○ くらべるものを決める。 ○ 調べる方法を決める。 ○ 取材のじゅんぴをする。 ○ 取材する。 ○ 取材したことを整理する。 ○ 気づいたことを出し合う。 ○ まとめてほうこく文にする。
			ワークシート・表	○ 取材カード，表，まとめるシート
			評価活動	○ 報告文を交流し，感想を述べ合う。
三 省 堂	○ 組み立てを考 えて書こう ・「クラスのこと を調べよう」	○ すきな遊び	構成	○ 「しつもんカード」を使って調べる。 ○ 文章にまとめる。 ○ 書いた文章を読み合う。
			ワークシート・表	○ しつもんカード，調べたけっかの表，す きな遊びのグラフ
			評価活動	○ 書いた文章を読み合い，感想を発表し合 う。
教 出	○ 調べたことを ほうこくしよう ・「見学したこ とを知らせよう」	○ 見学したこ と	構成	○ 「見学カード」を作る。 ○ 「見学カード」をもとに調べる。 ○ 「見学カード」の中から，書く内容をえら ぶ。 ○ 「見学カード」をもとに書く。 ○ 読み返す。
			ワークシート・表	○ 見学カード，原稿用紙の使い方，聞き取 りメモのれい
			評価活動	○ 調べた報告文を読み合う。
光 村	○ ざいりょうを集 めて，ほうこくす る文章を書こう ・「気になる記号」	○ 気になる記 号	構成	○ ざいりょうを集める。 ○ ざいりょうをよく見て，考える。 ○ ほうこくする文章の組み立てをたしかめ る。 ○ ほうこくする文章を書く。 ○ 読み合って，かんそうをつたえる。
			ワークシート・表	○ カード，メモ，下書き，よく使う表し方
			評価活動	○ 読み合って，感想や意見を伝える。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列
方法	配列の特徴・総単元数・三領域一事項ごとのページ数

配列の特徴		分量（ページ数）						
東 書	○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ おおむね上巻は、一つの領域に集中して学習する単元を配列し、下巻は、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：5単元(下巻のみ) 第2学年～第6学年：9単元		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	12	28	24	24	37	34
		書くこと	21	45	40	39	29	25
		読むこと	87	130	135	151	126	138
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	45	52	34	34	34
		入門期	111					
学 図	○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：8単元(下巻のみ) 第2学年：15単元 第3学年～第6学年：12単元		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	16	22	34	36	26	18
		書くこと	28	31	35	36	33	43
		読むこと	96	111	95	113	130	112
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	28	57	65	60	64	56
		入門期	81					
三 省 堂	○ 本編と『小学生の国語 学びを広げる』との2冊構成である。第1学年のみ上下巻の2冊構成である。 ○ 一教材一領域に焦点化して配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：5単元(下巻のみ) 第2学年及び第6学年：11単元 第3学年及び第4学年：10単元 第5学年：10単元		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	6	18	22	22	28	26
		書くこと	20	34	40	36	40	38
		読むこと	58	100	100	106	108	122
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	44	54	50	54	48
		入門期	103					
教 出	○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：10単元(下巻のみ) 第2学年：16単元 第3学年及び第4学年：17単元 第5学年：14単元 第6学年：15単元		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	6	16	24	24	24	22
		書くこと	26	30	29	29	30	33
		読むこと	86	152	136	142	140	134
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	44	44	55	51	54	57
		入門期	119					
光 村	○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年：10単元(下巻のみ) 第2学年：13単元 第3学年及び第4学年：11単元 第5学年及び第6学年：9単元		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		話すこと・聞くこと	6	20	22	24	18	27
		書くこと	10	32	28	30	29	32
		読むこと	101	117	133	134	127	126
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	31	38	44	42	45	36
		入門期	99					

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習の扱い方・教材の印の有無・教材名・ページ数

	発展的な学習の扱い方	教材の印の有無（※），教材名，ページ数
東 書	○ 本編と関連させて，複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材であることを示す印があるものはない。 巻末「付録 読書の部屋」 ○ 第1学年下「花いっぱいになあれ」他2編（26） ○ 第2学年上「あしたも友だち」他2編（24） ○ 第2学年下「ないた赤おに」（8） ○ 第3学年上「山の図書館」他1編（16） ○ 第3学年下「手ぶくろを買いに」（14） ○ 第4学年上「一つの花」他1編（14） ○ 第4学年下「世界一美しい村へ帰る」（10） ○ 第5学年 「宮沢賢治」他1編（15） ○ 第6学年 「桃花片」他1編（18）
学 図	○ 本編と関連させて，複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材であることを示す印があるものはない。 巻末「資料編」 ○ 第1学年下「おんちよろちよろ」他1編（14） ○ 第2学年上「おまえうまそうだな」他1編（16） ○ 第2学年下「あいさつのみぶりとことば」他1編（14） ○ 第3学年上「夏の宿題」他1編（14） ○ 第3学年下「ミラクルミルク」他1編（18） ○ 第4学年上「だまし絵で分かる脳のしくみ」他2編（16） ○ 第4学年下「りんご畑の九月」（10） ○ 第5学年上「和紙の心」他2編（20） ○ 第5学年下「木竜うるし（人形劇）」（14） ○ 第6学年上「ジプシーとの約束」他2編（26） ○ 第6学年下「山へ行く牛」（14）
三省堂	○ 本編と関連させて，複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材であることを示す印がないもの。 巻末「どくしよの森」 ○ 第1学年上「みんなおなじでもみんなちがう」（6） ○ 第1学年下「ろくべえまってるよ」他1編（19） 別冊「読書の森」 ○ 第2学年 「スーフと馬頭琴」他1編（24） ○ 第3学年 「手ぶくろを買いに」他1編（20） ○ 第4学年 「一つの花」他3編（22） ○ 第5学年 「あいつの年賀状」他4編（20） ○ 第6学年 「仙人」他5編（26） ※ 発展的な学習の教材として印のあるもの。 別冊「読書の森」 ○ 第3学年「星取り」「いろは歌」「竹取物語」（4） ○ 第4学年「浦島太郎」（2）

【国語】

教 出	○ 本編と関連させて、複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材であることを示す印があるものはない。 巻末「付録」 (第1学年下～第4学年上、第5学年上は掲載がない) ○ 第4学年下「百人一首」を読もう(2) ○ 第5学年下「附子」他1編(14) ○ 第6学年上「ブラッキーの話」他1編(18) ○ 第6学年下「子供たちを救いたい」他2編(17)
光 村	○ 本編と関連させて、複数の読み物を読ませる。	※ 発展的な学習の教材であることを示す印があるものはない。 巻末「ふろく」 ○ 第1学年下「まのいいりょうし」(4) 巻末「付録 学習を広げよう」 ○ 第2学年上「いなばの白うさぎ」(3) ○ 第2学年下「十二支のはじまり」他1編(15) ○ 第3学年上「たのきゅう」(4) ○ 第3学年下「とらとおじいさん」(9) ○ 第4学年上「山ねこ、おことわり」他1編(10) ○ 第4学年下「百人一首に親しもう」(4) ○ 第5学年 「見るなのざしき」他3編(23) ○ 第6学年 「河鹿の屏風」他1編(12)

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表の活用
方法	文章と図表の関連について考えさせる記述

第5学年		
	単元名及び活動内容 (ページ数)	取り上げているグラフや表とその活用に関する記述
東 書	○ 「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」 ・ 同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。 (9)	○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 写真「アップ」「ロング」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 ・ 記事と写真の関係を読み取ろう。 A社とB社の写真の役割について、書き手の意図と関係づけながら考えましょう。 写真がけいさいされていなかった場合と比べて考えてみましょう。 ・ 紙面の印象や、記事に対する読み手の興味はどう変わるでしょうか。 ・ 記事の内容を理解するのに、ちがいはあるでしょうか。 ・ 書き手のメッセージの伝わり方は、どう変わるでしょうか。 A社の写真とB社の写真を入れかえたらどうなるか考えてみましょう。
学 図	○ 「表やグラフを使って伝えよう」 ・ ニジマスの収穫量をしめしたグラフと表を活用して、考えを述べる練習をする。 (4)	○ 折れ線グラフ「ニジマスのしゅうかく量(グラフ)」 ○ 表「ニジマスのしゅうかく量(表)」 ○ 写真 このように、同じ表やグラフであっても、「どの部分」を「どのように価値づけ」るかによって伝わる内容が変わります。 みなさんもこのように、自分が伝えようとすることを分かりやすく伝えるための効果的なグラフや表の使い方を考えながら、意見を述べたり、主張や提案をしたりしましょう。
三省堂	○ 「内容を正確にとらえよう」 ・ 『『十秒』が命を守る』の内容を整理し、筆者の主張をとらえる。 (10)	○ 図「世界の主なプレート」 ○ 図「地震の起きる仕組み」 ○ 折れ線グラフ「二つの波の伝わる速度のちがい」 ○ 図「地震発生から緊急地震速報がとどくまで」 ○ 図「『緊急地震速報』が出てから、S波が来るまでの時間」 <図や表から内容をとらえる> 文章を読んでいると、図や表、グラフ、絵、写真などが用いられていることがあります。文章の内容をおぎなったり、文章では表せないことを伝えたりして、わかりやすく説明するためです。文章と図や表とのつながりをきちんとたしかめながら読むことで、よりくわしく、正確に内容をとらえることができます。
教 出	○ 「多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう」 ・ 「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」の二つの説明文と六つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く。 (14)	○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」 ○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」 ○ 書式「入山届出書の例」 ○ 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」 ・ できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。 ・ 「資料3」から、人が核心地域にはいると、自然にえいきょうが出てしまう場合が考えられる。

光 村	○ 「説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう」 ・「天気を予想する」を読み、筆者はどのような意図で文章を構成し、図表やグラフ、写真を用いたのかなどに着目しながら文章を読み、説明のしかたの工夫について話し合う。 (11)	○ 表「東京地方の降水の予報精度（5年平均）」 ○ 写真「アメダスの観測装置」「気象レーダー」 ○ 図「天気の予想図」「気温の予想図」（平成24年11月7日11時発表） ○ 写真「静止気象衛星」「静止気象衛星からの写真」 ○ 棒グラフ「1時間に50ミリメートル以上の雨が観測された回数」 ○ 写真「山をはさんで、向こう側とこちら側で天気がちがう様子」 ○ 写真「富士山の頂上にかかったかさ雲」「急速に発達し、はげしい雨をふらせる積乱雲」「天気が悪くなっていくことを知らせるうろこ雲」 ＜たいせつ＞ ・科学的読み物では、図表やグラフ、絵、写真などが説明に用いられることがある。 ・図表やグラフ、絵、写真などを用いることによって、筆者は伝えたいことを説得力をもって伝えようとしている。
----------------	--	---

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と三領域一事項ごとの内容

第6学年					
	巻末資料の提示の仕方	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと (■図書の紹介, □読み物資料)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (漢字一覧以外)
東書	「付録 言葉の世界」として示している。	○ 「聞いてみよう」 ○ 「『言葉の力』のまとめ」	○ 「構成を考えよう」 ○ 「『言葉の力』のまとめ」	○ 「『言葉の力』のまとめ」 ■ なし（本編中に掲載） □ 掲載している。	○ 「学習で使う言葉」 ○ 「言葉の広場」 ○ 「日本の伝統芸能」 ○ 「言葉の力を活用しよう」 ○ ローマ字の表
学図	「資料編」として上・下巻に示している。	○ 「国語のカギ」	○ 「国語のカギ」	○ 「国語のカギ」 ■ 「感想を語り合おう」 □ 掲載している。	○ 「授業で使う言葉」 ○ 「さまざまな表現のくふう」 ○ 「伝統芸能に親しもう」 ○ 「目的に応じて調べよう」
三省堂	「『覚えておきましょう』のまとめ」として示している。 「学びを広げる」として、別冊に示している。	○ 「言葉のポケット」 ○ 「『覚えておきましょう』のまとめ」	○ 「言葉のポケット」 ○ 「『覚えておきましょう』のまとめ」	○ 「『覚えておきましょう』のまとめ」 ■ 「小さな図書館」 □ 掲載している。	○ 「言葉のポケット」 ○ 「読書の森」 ○ ひらがな・カタカナ・ローマ字の表
教出	「付録」として上・下巻に示している。	○ 「この本で学ぶこと」	○ 「この本で学ぶこと」	○ 「この本で学ぶこと」 ■ 「6年生で読みたい本」 □ 掲載している。	○ 「伝えられてきた作品」 ○ 「言葉の星座」
光村	「学習を広げよう」として示している。	○ 「『たいせつ』のまとめ」 ○ 「学習に用いる言葉」	○ 「『たいせつ』のまとめ」 ○ 「学習に用いる言葉」	○ 「『たいせつ』のまとめ」 「学習に用いる言葉」 ■ 「この本読もう」 □ 掲載している。	○ 「言葉の宝物」 ○ 「考えを助ける図表」 ○ 「学習に用いる言葉」 ○ ローマ字の表

観点	(才) 言語活動の充実	
	視点	⑪知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫
	方法	「手紙等を書く活動」, 「報告する文章等を書く活動」, 「詩, 物語, 随筆等を創作する活動」の単元名

	手紙等を書く活動	報告する文章等を書く活動	詩, 物語, 随筆等を創作する活動
東書	○ 第2学年『ありがとう』をつたえよう」他 ○ 第3学年「案内の手紙を書こう」 ○ 第4学年「お願いやお礼の手紙を書こう」他	○ 第1学年「わたしのはっけん」他 ○ 第2学年「かんさつしたことを書こう」他 ○ 第3学年「調べて書こう, わたしのレポート」 ○ 第4学年「みんなで新聞を作ろう」「目的や形式に合わせて書こう」 ○ 第5学年「資料を生かして考えたことを書こう」「伝えよう, 委員会活動」他 ○ 第6学年「資料を生かして呼びかけよう」	○ 第1学年「ことばあそびうたをつくろう (詩)」「おはなしをつくろう (物語)」他 ○ 第2学年「絵を見てお話を作ろう」「心がうごいたことを (詩)」他 ○ 第3学年「人物を考えて書こう (物語)」「気持ちを言葉に (詩)」他 ○ 第4学年「ある人物になったつもりで (物語)」「言葉をつなげて (詩)」他 ○ 第5学年「一つの言葉から (詩)」「不思議な世界へ出かけよう (物語)」「五・七・五で表そう (俳句)」他 ○ 第6学年「ずい筆を書こう」「物語を作ろう」「句会を開こう (俳句)」他
学図	○ 第1学年「はがきをかこう」他 ○ 第2学年「知らせたいことを手紙に書こう」 ○ 第3学年「あんないじょうを書こう」 ○ 第4学年「いらい状とお礼状」 ○ 第5学年「手紙の書き方」他 ○ 第6学年「電子メールや送り状 (送付状) の書き方」	○ 第1学年「わたしのはっけん」 ○ 第2学年「地いきの行事のできごとをほうこくしよう」他 ○ 第3学年「見てきたことを新聞にまとめよう」「遊びをくらべよう」他 ○ 第4学年「見学したことを報告しよう」他 ○ 第6学年「卒業レポートを書こう (予告編)」「言語感覚を豊かにしよう」「卒業レポートを書こう」他	○ 第1学年「ころごうごいたこと (詩)」「『音』をさがしておはなしづくり」 ○ 第2学年「したことをいきいきと (詩)」「つづき話を作ろう」他 ○ 第3学年「見たこと, 感じたこと (詩)」「写真が動き出す—写真から物語を作ろう—」 ○ 第4学年「心に残っていること (詩)」「これであなかも作家になれる (物語)」他 ○ 第5学年「わたし風『枕草子』 (随筆)」「短歌・俳句を作ろう」「人物を生き生きとえがき出そう (脚本)」他 ○ 第6学年「『連詩』を発見する」「ぼくの・私の物語作り」
三省堂	○ 第1学年「は・へ・を」他 ○ 第2学年「手紙をこうかんしよう」 ○ 第3学年「あんないの手紙を書こう」他 ○ 第4学年「お願いやお礼の手紙を書こう」他	○ 第1学年「みのまわりのいきもの」他 ○ 第2学年「見て, 聞いて, さわって」他 ○ 第3学年「クラスのことを調べよう」他 ○ 第4学年「新聞でニュースを伝える」 ○ 第5学年「グループ新聞」「見学レポート」他 ○ 第6学年「説得力のある意見」他	○ 第1学年「きよだいなきよだいな (物語)」他 ○ 第2学年「きぜつライオン (物語)」他 ○ 第3学年「何をしているのかな (物語)」「カルタを作ろう」他 ○ 第4学年「みんなの詩, わたしの詩」「故事成語の物語」他 ○ 第5学年「このあと, どうなる? (物語)」「句会を楽しむ」 ○ 第6学年「自由な発想で—随筆—」「短歌を作る」他
教出	○ 第2学年「手紙を書いてつたえよう」ふろく「はがきの書き方」 ○ 第3学年「いろいろな手紙を書こう」ふろく「横書きの手紙の書き方」 ○ 第5学年付録「電子メールで伝え合う」	○ 第1学年「のりもののことをしらせよう」「見つけたことをしらせよう」他 ○ 第2学年「たんけんしたことをつたえよう」「メモをもとに文章を書こう」「生きもののことをせつめいしよう」他 ○ 第3学年「生き物のとくちょうをくらべて書こう」「見学したことを知らせよう」他 ○ 第4学年「見学したことを報告しよう」「学級新聞をつくろう」「『不思議図かん』を作ろう」他 ○ 第5学年「クラスで活動報告しよう」 ○ 第6学年「学校案内パンフレットを作ろう」「意見文を書こう」他	○ 第1学年「おはなしのつづきをかこう」 ○ 第2学年「絵を見てお話を書こう (物語)」「みじかい言葉で (詩)」 ○ 第3学年「はつとしたことを詩に書こう」 ○ 第4学年「物語を書こう」 ○ 第5学年「俳句・短歌を作ろう」 ○ 第6学年「随筆を書こう」「一年生に向けて物語を書こう」他
光村	○ 第1学年「てがみでしらせよう」 ○ 第3学年『ありがとう』をつたえよう」他 ○ 第4学年「手紙で伝えよう」 ○ 第5学年「通信文のいろいろ」 ○ 第6学年「心にひびく手紙」	○ 第1学年「しらせたいな, 見せたいな」他 ○ 第2学年「かんさつ名人になろう」 ○ 第3学年「気になる記号」「ことわざについて調べよう」他 ○ 第4学年「新聞を作ろう」「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」「わたしの研究レポート」他 ○ 第5学年「次への一歩—活動報告書」「グラフや表を用いて書こう」他 ○ 第6学年「ようこそ, 私たちの町へ」	○ 第2学年「お話のさくしゃになろう」「見たこと, かんじたこと (詩)」他 ○ 第3学年「たから島のぼうけん (物語)」 ○ 第4学年「野原に集まれ (詩)」 ○ 第5学年「日常を十七音で (俳句)」「一まいの写真から (物語)」他 ○ 第6学年「たのしみは (短歌)」「忘れられない言葉 (随筆)」他

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑫学校図書館機能の活用
方法	学校図書館等の活用の仕方について示されている記述の例

	単元名（ページ数）	学習内容
東 書	○ 第1学年上「としょかんってどんどころ」（2） ○ 第2学年上「としょかんへ行こう」（2） ○ 第3学年上「図書館へ行こう」（2） ○ 第4学年上「図書館へ行こう」（2） ○ 第4学年下「目的に合わせて調べよう」（2） ○ 第5学年「図書館へ行こう」（2） ○ 第6学年「図書館へ行こう」（2）	・図書館での約束 ・図書館での約束と本のなかま分け ・本のなかま分け ・本のラベルの数字と分類 ・目次・索引の使い方、引用の仕方 ・日本十進分類法（NDC）の仕組みと活用の仕方 ・地域の図書館、資料館、科学館等の活用の仕方
学 図	○ 第1学年上「すきなほんをひらいてみましょう」（2） ○ 第2学年上「図書しつに行き読んでみよう」（2） ○ 第3学年上資料編「図書室で本をさがそう」（2） ○ 第4学年上資料編「地いきの図書館を利用しよう」（2） ○ 第4学年下「生活の中に生きている読書」（2） ○ 第6学年上資料編「目的に応じて調べよう」（2）	・図書室の利用、約束 ・図書室の利用、約束 ・目次や索引の使い方、本の分類と番号、図鑑や百科事典について ・地域の図書館の利用、本の探し方（館内案内図、パソコン検索、司書）、付せんの使い方 ・書店や図書館での本の選び方 ・図書館、資料館、インターネット、取材での調べ方
三 省 堂	○ 第1学年上「としょかんへいこう」（2） ○ 第2学年「としょかんへいこう」（2） ○ 第3学年「図書かんへ行こう」（2） 「本をさがそう」（2） 「図かんでしらべよう」（2） ○ 第4学年「図書館へ行こう」（2） 「百科事典で調べよう」（2） ○ 第5学年「図書館へ行こう」（2） 「本の分類を知ろう」（2） 「情報を分類して整理しよう」（2） ○ 第6学年「図書館へ行こう」（2） 「調べるための本」（2）	・図書館の様子 ・読書カードの書き方 ・図書館の利用、読書カードの書き方 ・本の探し方、なかま分け ・目次や索引の使い方 ・掲示板、展示コーナー、読書カードの書き方 ・百科事典の使い方 ・図書館の利用、本の探し方（司書、コンピューター、目録） ・日本十進分類の仕組み、本のラベルの見方 ・日本十進分類を参考に樹形図を使っての内容の整理の仕方 ・読み比べのすすめ（同じシリーズ、同じ作者、同じテーマ） ・目的に応じた本の選び方（図鑑、年鑑、地域資料等）
教 出	○ 第1学年上「としょかんへいこう」（2） ○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」（4） ○ 第3学年上「本で調べよう」（4） ○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけよう」（4） ○ 第4学年上付録「司書」（1）	・図書館の利用 ・図書館地図による本の分類の様子 ・目次や索引の使い方、「読書カード」の書き方 ・本の分類（十進法分類法と分類記号、本のラベルの見方） ・司書の仕事
光 村	○ 第1学年上「ほんはともだち」（4） ○ 第1学年下「本をえらんでよもう」（2） ○ 第2学年上コラム「本の分けかた・ならべかた」（1） ○ 第3学年上「本を使って調べよう」（4） ○ 第3学年上コラム「本の分類表」（2） ○ 第4学年上コラム「読みたい本の見つけ方」（1） ○ 第5学年「広がる、つながる、わたしたちの読書」（4） ○ 第6学年コラム「施設を利用して、本の世界を広げよう」（1）	・図書館の利用 ・図書館の利用 ・図書館の本の分け方・並べ方 ・学校や地域の図書館の工夫（案内図、検索用コンピュータ、本棚、新刊紹介のコーナー、図書館の人） ・本（事典、図鑑、科学読み物など）を使って調べる方法、目次・索引の使い方 ・本の分類表、目次・索引の利用、図鑑や百科事典の活用 ・本の探し方、本のラベルについて ・本をすすめるための方法（図書館や書店の工夫の例） ・文学館の利用